

名称 INFOCLIMA (Climate Data Information Referral Service)

日本語名 気候データ情報参照サービス

親機関 WCP/WMO

住所 WMO Secretariat, Case Postale No. 2300, CH-1211, Geneva 2

国名 SWITZERLAND

電話 41-22-730-8111

ファックス 41-22-734-2326

1. タイプ：国際データ情報システム

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

INFOCLIMA は世界中の気候データの所在と利用可能性に関する情報の収集と普及を行っている。情報はとくに次のものからなる。

- (1) データセットの記述 (データセンターや出版物の記載)
- (2) 世界中の気候・放射観測地点ネットワークとその履歴
- (3) 各国の気候データバンクのデータ収集状況と処理・保管の状況

INFOCLIMA の参照サービスは、WCP (World Climate Programme) のもとで、WMO 事務局によって実施されている。WMO のメンバー国から得られるデータセットについては個々のデータセンターと国際機関が寄与している。参照サービスの性格は国際的であり、他の国際システムと調整して開発されてきた。INFOCLIMA は実際の気候データは扱わない。

INFOCLIMA はコンピュータ化されたデータベースとして保守管理されている。情報は性格によって異なった形態で出版される。

- 気候システムデータセットのカタログ
- 気候・放射状態の地域ネットワークの統計
- 気候データバンク-地域の状況調査

4. データ管理

カタログは特定のデータ収集と処理プログラムから得られたデータセットの記述をふくんでおり、データセンターのインベントリに別々にリストされている。

WCP のフレーム内のデータセットの特徴は、

- (1) 系統的に整理され、質が管理されている。
- (2) 気候に関して地域・全球研究における利用を対象としている。
- (3) 国際的に利用が可能かどうかを明示する。

データセット情報は、水文・気象データセンターによって保有されているが、WMO により調整されている。世界データセンターシステムについてはWMO とICSU間の協力があり、海洋に関するデータセットはIOC と協力している。

メンバー、国際センターによってWMO に提出されたデータセットに関する情報は、編集され、センターで検証した後、標準的な形式でINFOCLIMA のコンピュータ化されたデータベースに入力される。データベースの部分のテープ、フロッピーは要求に応じて利用できる。

実用上、気候データはいくつかに分類される。

上層大気データ

表層気候データ

表面放射データ

海事、海洋データ

雪氷圏データ

大気組成データ

水文データ

歴史的データ

6. 参考文献

WCP, 1989: INFOCLIMA Catalogue of Climate System Data Sets 1989 edition, WCDP-5, WMO/TD-No.293, 508 p.

WCP, 1992: INFOCLIMA Catalogue of Climate System Data Sets, Supplement to 1989 edition, WCDP-5, WMO/TD-No.293, 31 p.